

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
こどもリハスタジオメロディー		R8 年 1 月 28 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10	1	衝立を使用したり、生活介護のデイルームを利用したりしている。	心身機能の差が大きく（利用児）、特に歩行できる利用児にとってはスペースが足りない印象がある。屋外での活動の増加や体育館の使用など視野に入れて活動スペースを確保したい。利用人数に対して狭いと感じることもある。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10	1		利用児が曜日ごとに来所数にばらつきがあるため、スタッフ数が多すぎたり少なすぎたりと安定しない。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	3	靴入れに靴の絵が貼ってある。床に赤いテープを貼り区別している。利用児毎に荷物入れに顔写真を掲示。グループ内施設から物品を頂き環境整備に努めている。	構造化が今後の課題の一つ。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10	1	毎日清掃の実施。使用物品をウエルセプトで清拭を行う。利用活動に合わせて空間を作っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	6	メロディー内はパーテーションを設置しており活動を行いやすい。個別の部屋はないが、場所は変えることができる。	個別の環境が療育を行う上では確保できにくい状況にある。個別の部屋はない。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	10	1	兼務スタッフにはメール等使用し、情報今日烏有できている。	問題解決の過程にPDCAサイクルを取り入れるシステムが必要と思われる。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10		年1回アンケート調査実施し改善につなげている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	1	職員会議を月1回開催し意見を聞く場を設けている。	意見を取り入れやすくするため課題解決ノートを作成していたが十分な成果を得られていない。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	1		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	11	0	外部・内部研修に参加している。	基本的な安全研修などはあるが、専門的なスキルアップは個人にゆだねられており課題の一つといえる。
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	11	0	ホームページに掲載。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	11	0	カンファレンスにて実施。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	11	0	カンファレンスにて実施。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	11	0	最新のものをファイリングし、常に確認可能。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	3		標準化されたツールがない。 アセスメントツールの検討の必要がある。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10	0		

援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10	0		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	2	季節・天候に応じてプログラムの立案が行われている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	11	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	11	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	2	翌日の朝礼時に実施している。申し送りノートを活用。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10	0	記録は毎日行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	11	0		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10	1		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	11	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10	0	保護者を通じて、送迎時や連絡ノートなどで支援内容の共有理解を図っている。	他施設等との情報共有が課題。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	11	0		
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	4	4		
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	9	2	交流する機会は少ないが、地域で開催している祭りに参加したときに幼稚園との交流などがある。活動で地域の公園に出かけることもある。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	11	0	送迎時や連絡ノート記載、写真や動画等を提示し、保護者の方との状況や課題を話している。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	4	福祉機関からくる研修等のイベントパンフレットを家族に配布している。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	11	0		

保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	11	0	モニタリングにて実施。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	11	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	11	0		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	11	0	昨年度実施。定期的に機会を作りたい。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	11	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	11	0	メロディーだより、SNSにて実施。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	11	0		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	11	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	5		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	4		マニュアルはあるが訓練は行えていない。防犯マニュアルがない。家族への周知は不十分と思う。マニュアルがあるものもあるがスタッフに周知できていない。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10	1	参加できていない職員を優先的に訓練を行っている。	していない。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	11	0	看護スタッフが実施。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	3	食物アレルギーは確認している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	3		安全計画の作成がない。研修はしているが、わからない。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	4		安全計画の作成がない。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	11	0		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	11	0		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	11	0		